



左から 事業統括部長 杉崎 由佳さん
乗務員 久米 優里さん、山本 夏江さん

京都には世界中からたくさんの人が訪れます。京都駅に降り立って、最初に乗ったタクシーの印象が悪ければ、その後の観光や京都への思い出が嫌なものになってしまうかもしれません。私たちの仕事は、お客様を目的地まで安全にお連れすることですが、それだけでなく、たとえわずかな時間であっても、**その人の旅の一部分を担っているんだ、時間を共有しているんだ…**というおもてなしの意識を持つことが大切だと考えています。タクシーで京都市内を走っていると、自然と調和した町なみがとても美しいと感じることがあります。私たち「みとちゃんタクシー」の事業活動を通して、女性がより輝ける場を提供するとともに、多くのお客様に京都の魅力を伝えたいですね。



ハンドルの託す
心安らぐおもてなし

こころを込めて 我が社のおもてなし

洛東タクシー株式会社 (みとちゃんタクシー)

代表者 / 杉崎 則夫
住所 / 京都市山科区西野離宮町 36-4
TEL / 075-593-6020
URL / <http://www.rakuto-taxi.co.jp/mitochan/>

「ぞうさんタクシー」でおなじみの洛東タクシー。象のマークには、象の大きな背中に乗るような安心感でご利用いただきたいという思いが込められています。家族に運転してもらおうような安らぎ。女性ドライバーだからこそ安心してご利用いただけることがあるはずです。洛東グループでは、2013年7月に女性ドライバーだけによる「みとちゃんタクシー」を設立しました。なかにはヘルパーの資格を持った乗務員もいます。

「女性にとって働きやすい職場環境を提供しています」と事業統括部長の杉崎由佳さん。仕事と家庭の両立を目指すフレックスタイム制や固定給制の導入など、乗務員一人ひとりがゆとりを持って仕事に臨むことで、お客様の笑顔につながるおもてなしやサービスをお届けしたいと語ります。

「妊婦さんが乗車されたときは、体への負担が少ないようにできるだけガタガタ道を避けて走るようにしています」。乗務員の山本夏江さんは、自身の出産・育児の経験を重ね合わせて、こんな配慮があれば嬉しいと思うおもてなしを実践しているそうです。また、高齢者の病院への送迎では、桜や紅葉がきれいな道を選んで通ることも。いいものを見せてくれて、ありがとうございます。「お客様のその一言で、私も元気をいただけます」と乗務員の久米優里さんは目を細めます。

優しい眼差し、ほんなりとした言葉遣い、きめ細かな心配り。決してマニュアル通りでは提供できない居心地の良い時間が、温かみのある車内でゆつくりと流れます。